

2023年4月26日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「2023年度新入社員の意識調査・理想の上司」調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(岐阜県大垣市郭町2-25 社長 青木義実)は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。当社では、OKB総研主催の新入社員研修会の受講者を対象に、「新入社員の意識調査」を毎年実施しています。

〈調査結果のポイント〉

■ 理想の上司は、「水ト麻美」が初の1位 「大谷翔平」が急上昇し2位にランクイン(敬称略)

「あなたの理想の上司について著名人・有名人に例え1人だけお答え下さい(自由回答)」と尋ねたところ、「水ト麻美」がほぼ女性のみ票により、調査開始以降初めてトップに輝いた。2位は「大谷翔平」で、初めてトップ5入りした。

新入社員全体

順位		支持率(%)	
1位	(5) 水ト麻美	6.1	(3.5)
2位	(23) 大谷翔平	5.2	(0.6)
3位	(1) 明石家さんま	4.9	(4.7)
4位	(3) 内村光良	4.0	(4.4)
5位	(1) 天海祐希	3.4	(4.7)
	(6) 志村けん	3.4	(3.1)

(注) 敬称略。括弧内は2022年度の順位、支持率。

男性新入社員

順位		支持率(%)	
1位	(5) 志村けん	6.5	(3.8)
2位	(2) 明石家さんま	5.9	(4.5)
3位	(2) 内村光良	5.3	(4.5)
	(25) 大谷翔平	5.3	(0.6)
5位	(25) 栗山英樹	3.0	(0.6)

(注) 敬称略。括弧内は2022年度の順位、支持率。

女性新入社員

順位		支持率(%)	
1位	(2) 水ト麻美	12.0	(6.8)
2位	(1) 天海祐希	6.3	(8.6)
3位	(4) 櫻井翔	5.7	(4.3)
4位	(22) 大谷翔平	5.1	(0.6)
5位	(3) 明石家さんま	3.8	(4.9)

(注) 敬称略。括弧内は2022年度の順位、支持率。

■ 将来就きたい地位は「一般社員志向」が過去最高

「将来どんな地位に就きたいか」と尋ねたところ、1位は「スペシャリスト志向」で31.9%、次いで「一般社員志向」が26.1%、「管理職志向」が21.8%となった。「一般社員志向」は前回調査(2022年度)から3.5ポイント伸び、過去最高となった。

■ 上司・先輩との人間関係は「ほどほど派」が上昇し「積極派」が低下

「上司・先輩との人間関係はどのように考えているか」と尋ねたところ、「ほどほど派」は63.5%と最も高く、前回から5.5ポイント上昇した。一方、「積極派」は25.1%で前回から6.2ポイント低下した。

■ 働く目的は「安定した生活を送りたい」がトップ

「あなたが働く目的は何か」と尋ねたところ、1位は「収入を得て安定した生活を送りたい」で59.5%、次いで「自分の成長のため」が59.2%、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」が41.3%となった。

■ およそ6割が「短時間勤務制度」・「在宅勤務」・「フレックスタイム」を利用したいと回答

利用したい働き方について尋ねたところ、「短時間勤務制度」は61.8%、「テレワーク(在宅勤務)」は58.5%、「フレックスタイム(時差出勤等)」は55.2%、「ワーケーション」は46.8%、「副業・兼業」は43.5%、「施設利用型テレワーク」は30.6%が「利用したい」と回答した。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい。

資料配布場所：大垣市政経済記者クラブ、名古屋証券取引所・金融記者クラブ

【本件に関するお問い合わせ先：(株)OKB総研 調査部 梅木 風香 Tel.0584-74-2615】

調査の概要

調査対象	岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県所在の企業・団体の新入社員
調査期間	2023年3月29日～4月10日
調査方法	OKB総研主催の新入社員研修会（WEB,集合型）の受講者(746人)に無記名方式で実施
有効回答者数	395人(有効回答率 52.9%)
回答者属性	下表の通り

		全体	男性	女性
有効回答者数		395名	206名	189名
平均年齢		21.2歳	21.3歳	21.0歳
最終学歴	高校卒業	30.6%	26.2%	35.4%
	専門学校卒業	9.1%	8.7%	9.5%
	短期大学卒業	5.8%	4.4%	7.4%
	4年制大学卒業	50.1%	57.3%	42.3%
	その他	4.3%	3.4%	5.3%
居住地	岐阜県	54.7%	56.3%	52.9%
	愛知県	34.7%	34.0%	35.4%
	三重県	1.0%	1.0%	1.1%
	滋賀県	3.8%	4.9%	2.6%
	その他	5.8%	3.9%	7.9%
業種	建設業	11.6%	15.0%	7.9%
	製造業	43.3%	45.1%	41.3%
	卸売業、小売業	12.4%	11.2%	13.8%
	医療・福祉	6.6%	3.9%	9.5%
	サービス業	7.3%	5.3%	9.5%
	その他	18.8%	19.5%	18.0%

(注) 端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある（以下同じ）。

今年の新入社員像

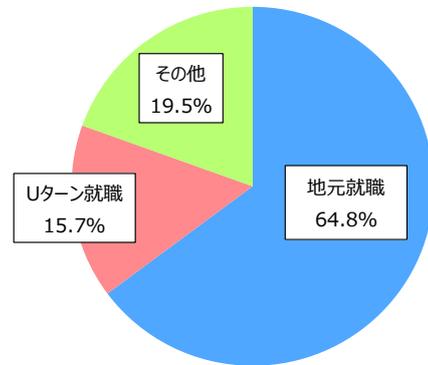
(1) 地元就職とUターン就職

…「地元就職」が64.8%

「あなたは地元就職・Uターン就職・その他のうち、どれにあてはまりますか」と尋ねたところ、「地元就職」が64.8%で最も高く、前回調査（2022年度）から2.2ポイント低下した。「Uターン就職」は15.7%で、前回から2.6ポイント上昇した（図表1）。

男女別に見ると、地元就職は男性が56.8%、女性が73.5%だった。Uターン就職は男性が20.9%、女性が10.1%だった。

図表1 地元就職とUターン就職



(%, %ポイント)

	全体			男性			女性		
	2022年度	2023年度	前回差	2022年度	2023年度	前回差	2022年度	2023年度	前回差
地元就職	67.0	64.8	▲2.2	61.8	56.8	▲5.0	72.0	73.5	+1.5
Uターン就職	13.1	15.7	+2.6	16.3	20.9	+4.6	10.1	10.1	0.0
その他	19.9	19.5	▲0.4	21.9	22.3	+0.4	18.0	16.4	▲1.6

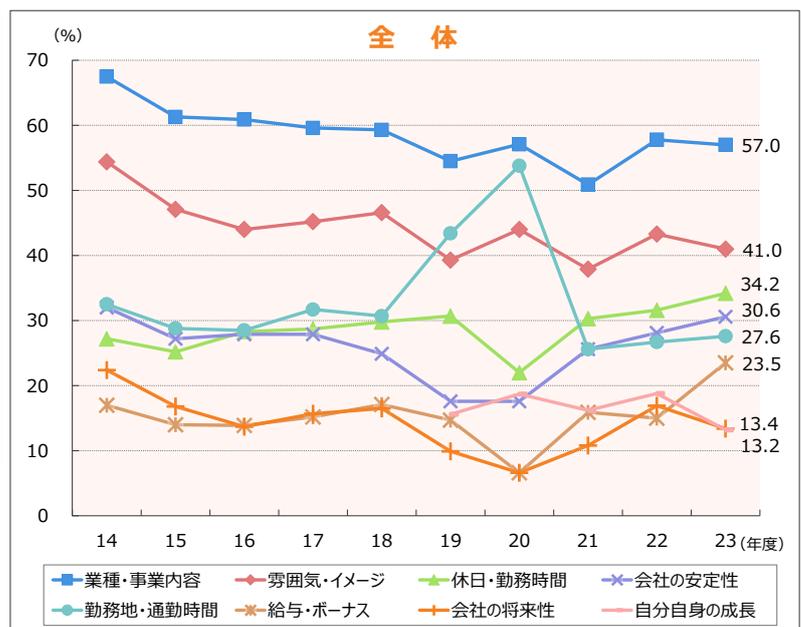
(2) 就職先の選択基準

…「業種・事業内容」「雰囲気・イメージ」を重視

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「業種・事業内容」（57.0%）、2位は「雰囲気・イメージ」（41.0%）、3位は「休日・勤務時間」（34.2%）となった（図表2）。

図表2 就職先の選択基準と推移（推移は上位8項目）※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	業種・事業内容	57.0%	▲0.8
2	雰囲気・イメージ	41.0%	▲2.3
3	休日・勤務時間	34.2%	+2.6
4	会社の安定性	30.6%	+2.5
5	勤務地・通勤時間	27.6%	+0.9
6	給与・ボーナス	23.5%	+8.5
7	会社の将来性	13.4%	▲3.5
8	自分自身の成長	13.2%	▲5.6
9	社員・人事担当者の対応	12.7%	▲0.1
10	福利厚生	10.4%	+3.0
11	親または学校の推薦	8.4%	+2.7
12	会社の規模	6.1%	+1.2
13	会社の知名度	3.0%	0.0
14	柔軟な働き方への対応	1.3%	▲0.3
15	SDGsなど社会貢献意識の強さ	0.5%	▲1.1
16	その他	0.8%	0.0



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(3) 将来就きたい地位

…「一般社員志向」が過去最高

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか(1つだけ選択)」と尋ねたところ、1位は「特殊能力・技能のあるスペシャリスト社員(以下:スペシャリスト志向)」で31.9%、次いで「一般社員のままだよい(以下:一般社員志向)」が26.1%、「部長・課長・主任などの肩書のある管理職(以下:管理職志向)」が21.8%となった(図表3)。

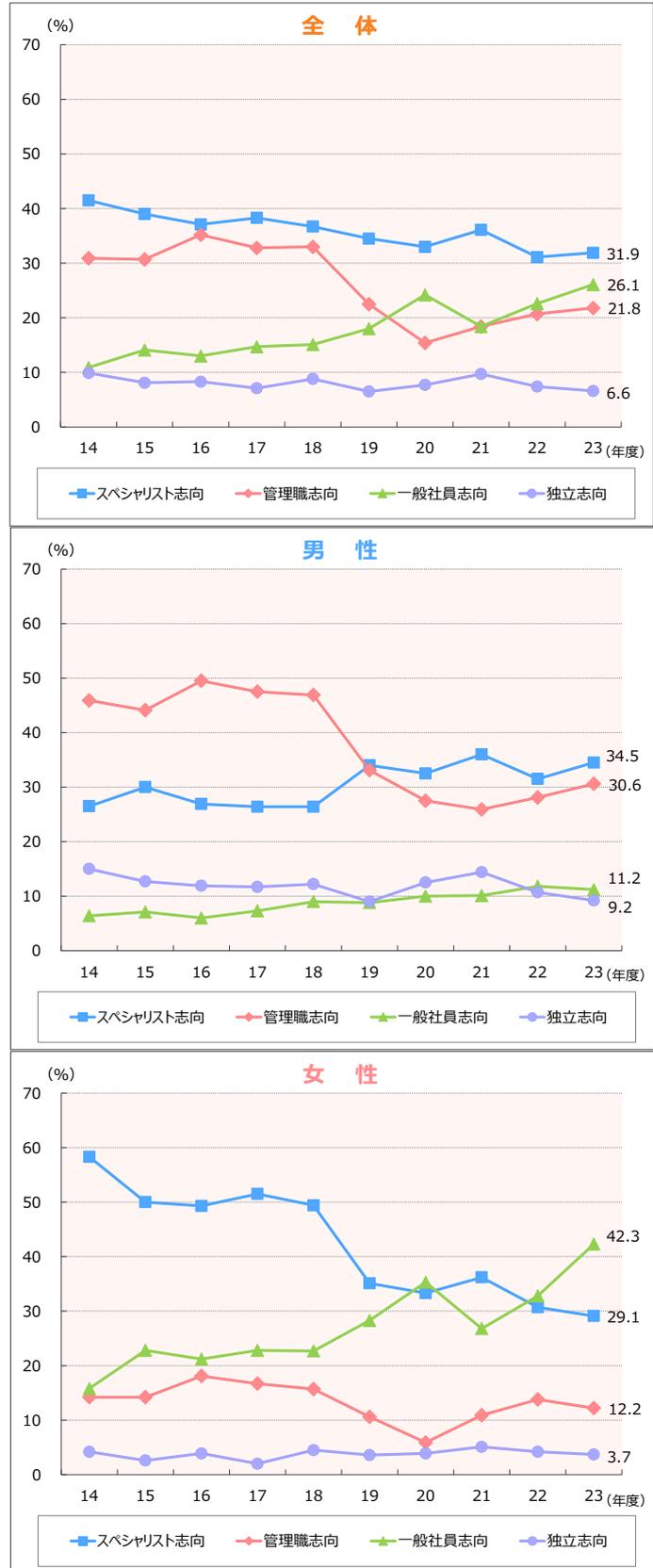
「一般社員志向」は2年度連続で上昇し、データをさかのぼれる1996年度以降、過去最高となった。

男女別に見ると、男性は「スペシャリスト志向」が34.5%で最も高く、前回から3.0ポイント上昇した。次いで「管理職志向」は30.6%で、前回から2.5ポイント上昇した。

「一般社員志向」は11.2%で前回からほぼ横ばいだった。

女性は「一般社員志向」が42.3%と最も高く、前回から9.5ポイント上昇し、過去最高となった。一方、「スペシャリスト志向」は29.1%で、前回から1.6ポイント低下し、過去最低となった。「管理職志向」は12.2%で、前回から1.6ポイント低下した。

図表3 将来就きたい地位(わからないを除いた項目)



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(4) 上司・先輩との人間関係

…「ほどほど派」が上昇し「積極派」が低下

「上司・先輩との人間関係はどのように考えていますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、「義理を欠かない程度（以下：ほどほど派）」が63.5%で最も回答率が高く、前回から5.5ポイント上昇し、データをさかのぼれる1996年度以降、過去最高となった。「プライベートも含め積極的に（以下：積極派）」は25.1%で、前回から6.2ポイント低下し、過去最低となった（図表4）。

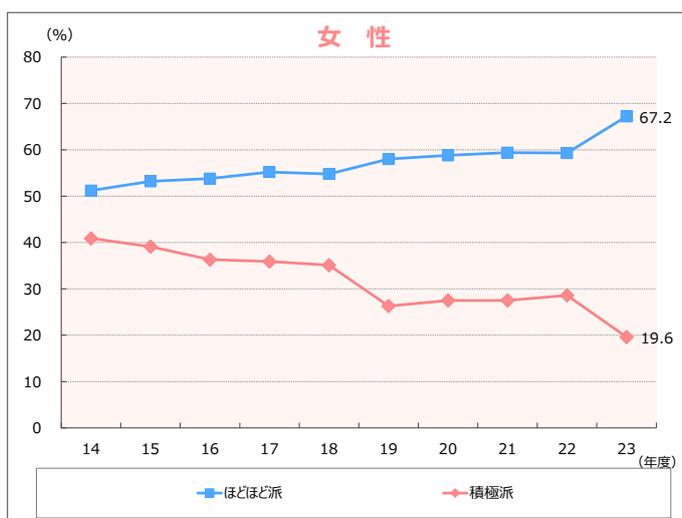
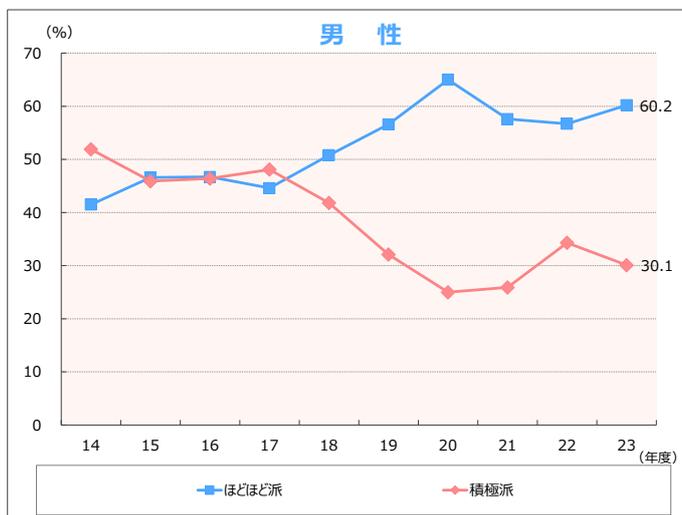
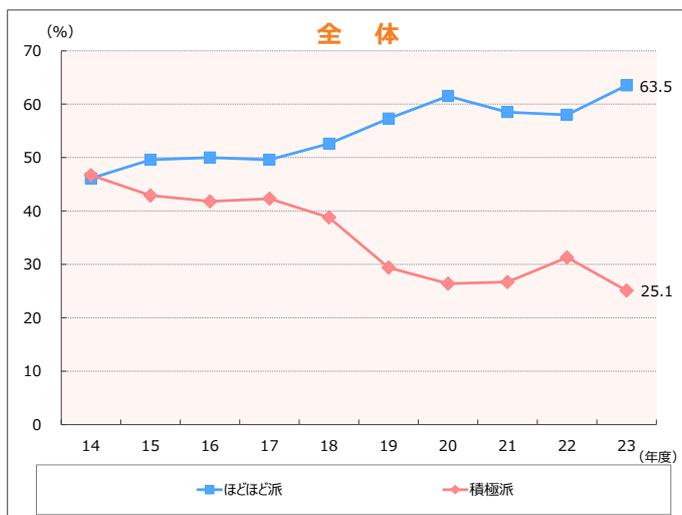
「ほどほど派」と「積極派」の差は、前回はやや縮小していたものの、今回再び開いた。

男女別に見ると、男女ともに「ほどほど派」と「積極派」の差が拡大した。

男性は「ほどほど派」が60.2%で、前回から3.5ポイント上昇した。「積極派」は30.1%で、前回から4.2ポイント低下した。

女性は「ほどほど派」が67.2%で、前回から7.9ポイント上昇し、過去最高となった。「積極派」は19.6%で、前回から9.0ポイント低下し、過去最低となった。

図表4 上司・先輩との人間関係（上位2項目）



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

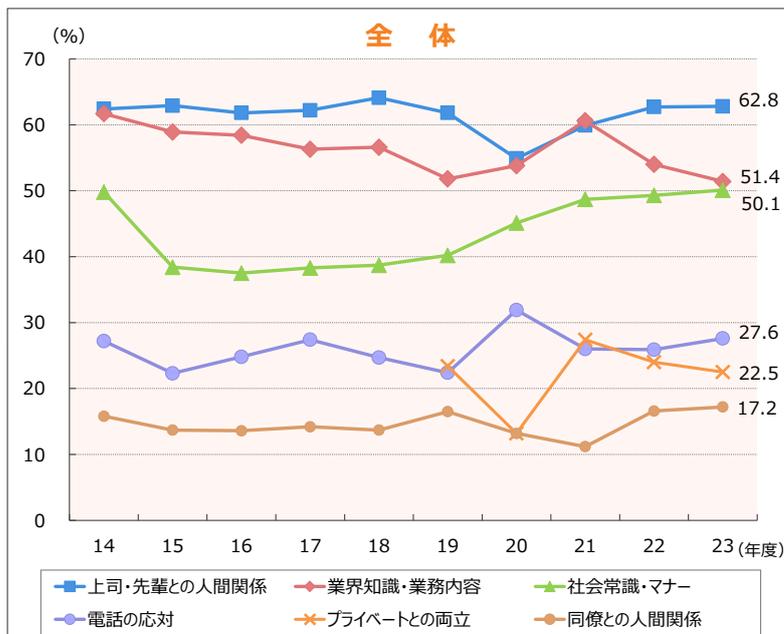
(5) 入社の際の不安

…「上司・先輩との人間関係」がトップを維持

「入社にあたって不安に思うことは何ですか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「上司・先輩との人間関係」（62.8%）、2位は「業界知識・業務内容」（51.4%）、3位は「社会常識・マナー」（50.1%）となった（図表5）。上位3項目は前回と変わらない。2位の「業界知識・業務内容」は前回から2.6ポイント低下し、3位の「社会常識・マナー」との差が縮まった。

図表5 入社の際の不安（推移は上位6項目）※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	上司・先輩との人間関係	62.8%	+0.1
2	業界知識・業務内容	51.4%	▲2.6
3	社会常識・マナー	50.1%	+0.8
4	電話の応対	27.6%	+1.7
5	プライベートとの両立	22.5%	▲1.5
6	同僚との人間関係	17.2%	+0.6
7	機械の使い方	13.2%	▲3.1
8	パソコン・オフィス機器の使い方	12.7%	▲5.8
9	規則的な生活	11.6%	+0.2
10	健康	10.9%	▲0.3
11	その他	0.8%	+0.3



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

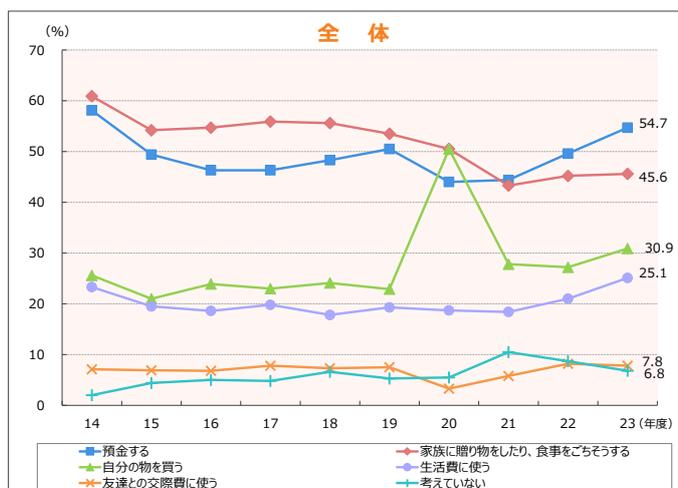
(6) 初給与の使い道

…「預金する」が上昇

「初給与はどのように使いますか（2つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「預金する」（54.7%）、2位は「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」（45.6%）となった（図表6）。

1位の「預金する」は前回から5.1ポイント上昇した。

図表6 初給与の使い道（上位6項目）※複数回答



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

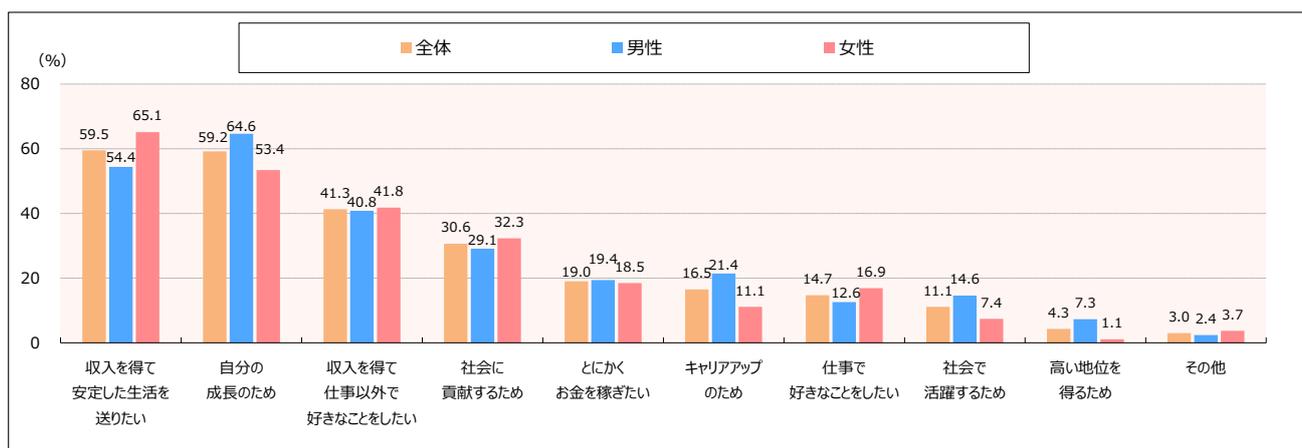
(7) 働く目的

…「安定した生活を送りたい」がトップ 次いで「自分の成長のため」

「あなたが働く目的は何ですか（3 つまで選択）」と尋ねたところ、1 位は「収入を得て安定した生活を送りたい」（59.5%）、2 位は「自分の成長のため」（59.2%）、3 位は「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」（41.3%）となった（図表 7）。

男女別に見ると、男性のトップは「自分の成長のため」（64.6%）で、前回から 11.2 ポイント上昇した。女性のトップは「収入を得て安定した生活を送りたい」（65.1%）で、前回から 4.8 ポイント上昇した。

図表 7 働く目的 ※複数回答



(%、%ポイント)

	全体			男性			女性		
	2022年度	2023年度	前回差	2022年度	2023年度	前回差	2022年度	2023年度	前回差
収入を得て安定した生活を送りたい	56.7	59.5	+2.8	52.8	54.4	+1.6	60.3	65.1	+4.8
自分の成長のため	54.0	59.2	+5.2	53.4	64.6	+11.2	54.5	53.4	▲1.1
収入を得て仕事以外で好きなことをしたい	41.1	41.3	+0.2	40.4	40.8	+0.4	41.8	41.8	0.0
社会に貢献するため	27.5	30.6	+3.1	25.8	29.1	+3.3	29.1	32.3	+3.2
とにかくお金を稼ぎたい	18.3	19.0	+0.7	19.7	19.4	▲0.3	16.9	18.5	+1.6
キャリアアップのため	11.2	16.5	+5.3	9.6	21.4	+11.8	12.7	11.1	▲1.6
仕事で好きなことをしたい	15.0	14.7	▲0.3	12.9	12.6	▲0.3	16.9	16.9	0.0
社会で活躍するため	12.5	11.1	▲1.4	11.2	14.6	+3.4	13.8	7.4	▲6.4
高い地位を得るため	3.3	4.3	+1.0	4.5	7.3	+2.8	2.1	1.1	▲1.0
その他	1.9	3.0	+1.1	2.2	2.4	+0.2	1.6	3.7	+2.1

(8) 利用したい働き方

…およそ6割が「短時間勤務制度」・「在宅勤務」・「フレックスタイム」を利用したいと回答

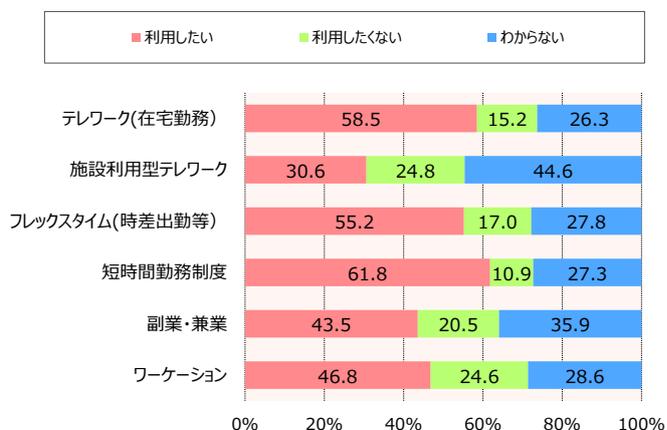
利用したい働き方について尋ねたところ、「テレワーク（在宅勤務）」、「フレックスタイム（時差出勤等）」、「短時間勤務制度」についておよそ6割が「利用したい」と回答した。

「利用したい」の回答率が最も高いのは「短時間勤務制度」（61.8%）だった。理由としては、「長い時間働きたくないから」、「自分の時間を作りたいから」、「妊娠・出産しても働き続けたいため」などの声が聞かれた。

次いで「テレワーク（在宅勤務）」が58.5%だった。理由としては、「通勤時間が長いから」、「効率的に仕事ができそうだから」などの声があった

（図表8、9）。

図表8 利用したい働き方



図表9 利用したい理由（一部抜粋）

テレワーク（在宅勤務）	施設利用型テレワーク
<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時間が長いから。 ・効率的に仕事ができそうだから。 ・今後テレワークが主流になる可能性があるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動いて仕事場に行きたいので、施設利用型がいい。 ・気分転換のために利用したい。 ・環境を変えた方が捗るため。
フレックスタイム（時差出勤等）	短時間勤務制度
<ul style="list-style-type: none"> ・自由な時間に通勤できるから。 ・朝に間に合うかどうかという心配をできる限り無くしたいから。 ・家事育児と両立するために利用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長い時間働きたくないから。 ・自分の時間を作りたいから。 ・妊娠・出産しても働き続けたいため。
副業・兼業	ワーケーション
<ul style="list-style-type: none"> ・他にもやってみようと思うことがあるから。 ・金銭的な心配があるから。 ・空いた時間にお金を稼ぎたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうだから。 ・最近になって生まれた新しい考え方だと思うので体験してみたい。 ・リフレッシュしながら働き、良い案などが思い付きそう。

(9) 理想の上司

…「水ト麻美」が初の1位 「大谷翔平」が急上昇し2位にランクイン

今年度の新入社員に、「あなたの理想の上司とはどんなタイプですか。著名人・有名人に例えて1人だけお答え下さい(自由回答)」と尋ねたところ、全体ランキングではアナウンサーの「水ト麻美」が、1997年度に理想の上司に関する調査を開始して以降、初めてトップに輝いた。ほぼ女性のみから票を得た。選んだ理由については「どんな時も優しく笑顔でいるから」、「仕事の悩みやミスに正面から向き合ってくれそう」、「厳しく指導をしてくれる反面、部下に優しく面倒見が良さそう」などの意見が寄せられた。

2位はWBCでの活躍が記憶に新しい「大谷翔平」で、今回初めてトップ5入りした。「結果を出し、周りを実力でも雰囲気でも引っ張っている」、「人当たりが良く、気配りができる人のため」、「真面目で性格が良く、後輩に優しくそう」などの意見が寄せられ、男女問わず支持を集めた。

男女別ランキングでは、男性が選んだトップ3は1位が「志村けん」、2位は「明石家さんま」、3位は同率で「内村光良」・「大谷翔平」となった。「志村けん」は男性ランキングにおいて初めて1位となった。また、WBCで日本代表の監督を務めた「栗山英樹」が5位となった。女性が選んだトップ3は1位が「水ト麻美」、2位が「天海祐希」、3位が「櫻井翔」となった(図表10)。

(敬称略)

図表10 理想の上司(敬称略)

全体	順位	2018年度	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度
	1	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	水ト麻美
	2	松岡修造	イチロー	水ト麻美	天海祐希	大谷翔平
	3	天海祐希	松岡修造	天海祐希	内村光良	明石家さんま
	4	内村光良	内村光良	内村光良	櫻井翔	内村光良
	5	イチロー	水ト麻美	イチロー	水ト麻美	天海祐希 志村けん

男性新入社員	順位	2018年度	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度
	1	明石家さんま	イチロー	明石家さんま	松本人志	志村けん
	2	松岡修造	明石家さんま	イチロー	明石家さんま	明石家さんま
	3	イチロー	松岡修造	阿部寛	イチロー	内村光良
	4	松本人志	内村光良	松岡修造	内村光良	大谷翔平
5	北野武	所ジョージ	松本人志	志村けん	栗山英樹	

女性新入社員	順位	2018年度	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度
	1	天海祐希	水ト麻美	水ト麻美	天海祐希	水ト麻美
	2	明石家さんま	明石家さんま	天海祐希	水ト麻美	天海祐希
	3	水ト麻美	松岡修造	内村光良	明石家さんま	櫻井翔
	4	内村光良	天海祐希	明石家さんま	内村光良	大谷翔平
5	松岡修造	内村光良	櫻井翔	櫻井翔	明石家さんま	

(注) 網掛けは2023年度全体で回答率が高かった上位3位までの人。

2020年度については新型コロナウイルスの影響で回答数が少なかったため集計していない。

以上